

様式1

令和2年度

学 校 自 己 評 価 表

智頭町立智頭小学校

教 育 方 針		【学校教育目標】 「 夢に向かって のびる 杉っ子 」 ～ わくわく登校 生き生き学習 笑顔でつながる学校づくり ～ 【目指す子どもの姿】 ○進んで学ぶ子 ○心を磨く子 ○強い心と体をつくる子 ○郷土を愛する子 【 確 かな 学 力 】 【 豊 かな 心 】 【 健 や かな 体 】 【 高 い 自 己 有 用 感 】			重点 目標 ①特別支援教育・児童支援体制の充実と人権教育の推進 ②生活や学習のルール・マナーの徹底と落ち着いた学校生活の確立 ③基礎学力の確実な定着、学びに向かう力と表現力の育成 ④健康的な生活とたくましい体や心の育成 ⑤「ふるさと智頭」を愛する地域学習の充実・発展 ⑥読書活動の充実・発展 ⑦職員研修の充実（主体的・協同的な授業づくり） ⑧児童の成長につながる働き方改革の推進と業務改善				
(4：十分に達成できた 3：ほぼ達成できた 2：あまり達成できず 1：ほとんど達成できず)									
評価項目	具体項目	現状	めざす姿	具体的方策	3学期の取組	評価基準	自己評価	目標の達成状況	次年度への改善方策
確かな学力	○学習内容の理解や説明する力の向上（算数の学習）	○算数の学習において十分に理解して学習を終えることができていない。また、理解できていても説明する力が弱い。	○振り返りの中に分かったことを自分の言葉で表している。 ○友達に説明することができる。	・ノート賞の選考基準に「算数の学習での振り返りの中で、算数用語を用いて学習内容が理解できたかどうか」を入れる。 ・1時間の学習で必ず教え合いの場面を設定する。（ペア・グループなどの形は問わない）	・ノート賞選考基準を「振り返り」「自分の考え」に絞って評価し、よく書けているノートのよかったところを評価し、見本として提示する。	・ノート賞選定時における教員の見取りと、児童アンケートにおける理解の項目達成70％以上。	3	・児童アンケートの肯定的数値は75％。ノート賞を行うことで児童の意欲は高まる。	・ノート賞を継続していいたい。書く力を身につけていくためにもノートの指導は必要。
	○モジュールの時間の活用（活用問題と基礎問題）	○モジュールの時間を有効に活用できていない。	○モジュールの時間に基礎学力（国語、算数）の定着と活用問題の練習に取り組むことができる。	・週3回あるモジュールの時間に国語・算数の基礎学力、算数の活用問題を行い、学力の向上を図る。	・来年度に向けてタブレットの取り組みを実践しておく。曜日を決めて基礎（国語・算数）応用を行う。	・職員へのアンケート達成率80％以上。	2	・応用問題を実施した学級からは成果が見られたと報告があったが、できない学級もあった。	・タブレットの環境がよくなるので、積極的にタブレットを活用していきたい。
	○家庭学習の充実	○家庭学習の時間は向上しているが、予習・復習など進んで取り組むことが不十分である。	○家庭と連携して家庭学習に取り組めたり、進んで予習や復習に取り組めたりできる。	・学年に応じて、予習を自学で行うよう促す。 ・学年通信で定期的に算数の学習進度を伝えとともに、家庭での学習の協力をお願いする。	・週末の学習計画の配布を実施する。	・児童アンケートの家庭学習に関する項目の平均達成率80％以上。 ・学年通信等による家庭啓発を月に1回以上。	2	・児童アンケートの達成率は78％学年通信による啓発が不十分であった。	・家庭学習の中に自学を積極的に取り入れていきたい。
豊かな心	○挨拶の奨励	○児童玄関など決められた場所では挨拶をしようとするが、いつでも場に応じた挨拶をすることはできない。 ○名前を言われても返事が返せない児童がいる。	○進んで場に応じた挨拶をしている。	・朝の3点挨拶に取り組む。（学校前・児童玄関・教室に入るとき） ・登校班の挨拶の表彰をする。 ・強化週間（学校前に教員が立つ）楽しい挨拶週間（外国語の挨拶など）を設定する。	・決まった場所以外では挨拶がなかなかできない現状にあるが、3学期も3点挨拶は引き続き取り組み、学期末の登校班の表彰を行う。 ・スリッパ揃えは、強化月間のみチェックする。（2月）	・児童アンケート80％達成を目指す。 ・毎月代表委員会の振り返り項目に学級ごとの挨拶の振り返りを入れる。	3	・挨拶については、各クラスから良くなってきたと高く評価されている。 ・決まった場所以外では挨拶がなかなかできない現状は続いている。 ・スリッパ揃えは、なかなか徹底ができなかった。	・決められた場所以外でも挨拶ができるように、来年度も挨拶について取り組む。 ・廊下を走る児童が絶えないため、廊下歩行についても取り組む。
健やかな体	○基本的な生活習慣や衛生習慣の定着の呼びかけ	○生活習慣、衛生習慣の定着が不十分な児童がいる。	○生活習慣、衛生習慣が定着している。	・保小中で連携してノーメディアデー1週間にチャレンジする。	・引き続き、メデイコンカード等で、啓発していく。残酷すぎるゲーム等も。	・ノーメディアデーの達成日が増えている。	3	・達成日が増えている。	・次年度も継続の方向。
	○良い姿勢の定着化	○姿勢の保持が難しい。	○良い姿勢を保持して学習できている。	・学習の始めと終わりの挨拶を立たずに実施する。（立腰をしたまま挨拶することで習慣化を図る。）	・引き続き立腰を、授業中の書く姿勢も指導する。	・児童アンケート「良い姿勢で、学習の始めと終わりの挨拶ができた。」の達成率が75%以上。	3	・2月実施のアンケートで達成率が80％を超えた。	・挨拶の立腰はいいが、書く姿勢には課題がある。
	○体力の向上	○新体力テストでの柔軟性の課題に対して、全校で取り組んでいきたい。	○自分の体の柔軟性を良くしようとする意識を持ち運動する。	・朝の会や体育の準備運動を利用して、「ワンミニッツエクササイズ」を実施する。	・長座体前屈を体育の時間等で実施する。	・児童アンケート「朝の会でのワンミニッツエクササイズを一生懸命頑張った。」の項目の達成率が80%以上。	4	・2月実施のアンケートで達成率が80％を超えた。柔軟性の数値も向上した。	・1種類だと飽きるので複数の種類を実施したい。
保護者・地域との連携	○保護者・地域との連携による「開かれた学校・信頼される学校づくり」	○保護者・地域の学校への期待は、統合から9年目を迎えても変わらずに高い。 ○これまで培われてきた文化や伝統を今後も継承していく必要があるが、統合前の学校像を今なお求められる部分もある。	○学校の取り組みや思いが保護者や地域住民に確実に伝わっている。 ○学校の取り組みが保護者や地域住民に理解され、信頼を受けている。	・メディアの特長を活かして情報発信をする。（HP：級外の担当者配置。マチコミメール：タイムリーな発信） ・学校だより「満天星」の月1回の発行。（町内全戸回覧） ・PTA、町教委、役場、各種団体等との連携を通し、学校と保護者、地域がそれぞれ担う部分を明確にする。	・継続。 ・マチコミ利用ガイドを配布（校外学習前） ・PTA理事会提出。	・HP更新が週2回以上 ・HP、マチコミメールを全学年活用。 ・回覧以外の手段で支援団体への配布継続。 ・「めざす保護者像」が周知。	3 3 3	・2学期以降、週2回ペースで更新。 ・各種校外学習で、マチコミを活用。 ・地区公民館に10部程度配架。 ・学校だより、参観日で保護者に周知。	・担当者を配置し、更新を重ねる。 ・校外学習でのマチコミ利用を促進する。 ・コミュニティスクール導入準備と重ねて、取組を進める。
	○保護者や地域と連携した読書活動	○家庭読書が十分ではない。	○家庭でも読書に取り組んでいる。	・週末読書など家庭学習とつなげた読書に取り組む。	・図書館教育校内委員会を開催し共通実践を図る。	・図書館や家庭と連携した読書の実践。	2	・各学級、家庭との連携が不足。	・学級との連携を進める。